

M a a S 導入に向けた調査検討業務の実施及び実施方法について

■提案説明

令和4年度、新潟県のモデル事業（「地域交通資源の有効活用に関する調査事業」）として、地域の移動手段の確保に向けて取り組むこととなりました。この事業は、地域住民等の移動手段に関する課題に対して関係者が一体となって総合的に対応するための検討組織を新潟県と共同で立ち上げ、地域交通資源の有効活用に向けた調査検討を行うものです。

本協議会では、検討組織として5月に専門部会「佐渡島M a a S検討会」を立ち上げたところであり、今後の地域公共交通計画の見直し作業やM a a S導入を視野に、新潟県事業を活用した本年度事業計画及び予算を追加提案するものです。

なお、予算執行にあたっては、プロポーザル方式でコンサルタント業者を選定します。

■事業概要

- (1) 業務名 : M a a S 導入に向けた調査検討業務委託
 - (2) 実施主体 : 佐渡市地域公共交通活性化協議会
 - (3) 業務目的 : 佐渡市の地域概況や各種交通モードの利用実態等の調査・分析を行い、M a a S 導入の方向性、必要な施策等を整理する。
 - (4) 実施方法 ;
 - ①本業務は新潟県が発注する委託事業として本協議会が受託します。
新潟県（発注者） ⇔ 佐渡市地域公共交通活性化協議会（受託者）
 - ②本協議会は調査検討業務をプロポーザル方式（※）でコンサルタント業者を選定し委託契約を締結します。
佐渡市地域公共交通活性化協議会 ⇒ コンサルタント業者
- ※プロポーザル（企画提案）方式とは
業者選定する際に、複数の者に企画提案してもらい、その中からもっとも適した提案を選ぶ方式
- (5) プロポーザル実施要項（案）について
別紙のとおり
 - (6) 業務仕様書（案）について
別紙のとおり
 - (7) プロポーザル選定審査会設置要領（案）
別紙のとおり
 - (8) 事業予算額
新潟県委託金（予定）350万円（税込み）